

令和7年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価		
作成日		令和7年8月9日
法人名		園名
社会福祉法人照治福祉会		摂津峡認定こども園
まとめ		全体平均 4.51
第2章第2節 乳児期の園児の保育	担当制保育を通して一人ひとりの生活リズムや発達に合わせて援助や配慮を行うことができている。また、わらべうたを通しての触れ合いあそびをするなど、生活の中で温かい雰囲気をもって安心して遊べる環境を作るようにしている。しかし、遊びの中で子どもたちの興味関心に寄り添い、おもちゃや絵本など月齢や発達にあったものを用意しているが、細目に見直しをしていく必要がある。	
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	健康に過ごせるよう一人ひとりの体調などを担任間で共有し、生活リズムの安定につなげている。担任との信頼関係を基盤にして少しずつ周囲に目を向け、安心して友だちとかかわろうとする姿が見られるが、時折トラブルが起こったりしたときは、大人が仲立ちとなることで落ち着き、あそびが継続している。月齢や発達にあった環境を整えている中、散歩などで見つけてきた身近な動植物の世話などにも目を向けてみたり、ごっこ遊びを通して保育者や友だちとの言葉でのやり取りを深めたりして、様々な素材に触れる経験も楽しんでいく。	
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	日常生活を異年齢で過ごすことで、誰から教えられることなく自然に年長児が年下の子どもを手伝ったり援助する姿が見られる。一緒に生活する中で互いに影響し合いながら園生活を楽しみ、自らしたいあそびを見つけて主体的に取り組む姿がある。時にはぶつかり喧嘩をすることもあがるが、保育者が仲介して自分の思いを伝え合うことで納得して相手の思いに気づきながら友だち関係を築く姿がある。自然豊かな環境に恵まれ虫や植物、果実など興味の対象が尽きることなくあり、畑にいる時に散歩中の近隣の方々とのやり取りもある。言葉や造形などを通して自分の思いやイメージを表現する機会を大切にしていきたい。	
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	園児の健康管理には常に気を配り、家庭や園からの伝達などは職員間でしっかりと共有して確認し合うようにしている。子どものやりたい気持ちを受け止め安全にあそびができる環境を作るよう心がけ、全身を思い切り動かすなど子ども自身が自分の身体の動かし方を身につけられるように配慮している。一人ひとりの個性や思いを受け止め、一人の人間として認め丁寧に関わるようにしていく。	
第3章 健康及び安全	子どもたちの体調を把握し、保護者とも連携を取りながら子どもの成長を見守っている。食育に関しても子どもたちが水やりをして育てた野菜を収穫したり、クッキングをしてとれたての野菜の味を味わうことで食に興味を持っていけるよう給食職員とも連携している。また、安全管理については大きなけがや事態につながらないように環境を見直したり、常に見守り方にも「これでいいのか」と疑問を投げかけるようにし、危機管理を意識した教育保育の実践を展開していく。	
第4章 子育ての支援	保護者とは常にコミュニケーションを積極的に取っている。担任と保護者のやり取りが増えることで疑問や心配事も含めて会話も増え、信頼につながると思うので今後も家庭とのやり取りを絶やさず、子育て支援となるよう関わりを深めていきたい。また、多様な家庭環境を受け止め、柔軟に対応していくことで安心して子育てができる環境を作っていく。	
第5章 職員の資質向上	職員の資質向上については一人ひとり意識が違っているため年数に応じた研修体系を作るなど、おのずと意識ができるようにしていく。また研修に参加した職員の伝達講習の持ち方や伝達の方法についても、全員が受けやすく伝えやすい方法を考えていかなければならない。	
総合	前回の自己評価に比べて相対的に数値が上がった。会議の在り方やクラス担任間のコミュニケーションなど対話を主とした方法で取り組むことで、お互いの考えを知ったり、教育・保育で大切にしていることへの理解が深まったことではないかと推察する。幼児クラスの教育・保育について、子どもたちの「やってみたい」を軸に、職員間でしっかりと話し合い環境を用意し、友だちや大人と対話をしながらあそびが広がり、深まっていくような教育保育に取り組んでいくようにしていく。今年度は第三者評価を受審し、そこから見えた課題（研修体系構築などの人材育成、部外研修や会議録などの内容について職員への周知）などが明確になり今後取り組んでいきたい。	
データ表		
内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	5.00
「3歳未満児保育」	32	4.81
「3歳以上児保育」	53	4.08
「教育保育の配慮事項」	16	4.88
「健康・安全」	29	4.48
「子育ての支援」	18	5.00
「職員の資質向上」	9	3.67
計	172	4.51
データグラフ		